

AAC

AICHI ARTS CENTER

アートを読む、あいちを読む

2014/vol. 82
Winter

愛知芸術文化センター 情報誌

| 今号のキーワード |

歴史を誇る英国文化の深み



純真 のミューズ

赤みを帯びたふっくらした頬、観る者を見透かすようなまなざし、強い意志を秘めた口元。子どもと大人の顔を併せ持つこの少女は、スペイン女王マリア・マルガリータを描いたベラスケス《女官たち》から着想された。最年少の11歳でロイヤル・アカデミー・スクールに入学したミレイは、生涯を通じて美しさや純真さの象徴として子どもを描いた。



ジョン・エヴァレット・ミレイ 《ベラスケスの思い出》1868年
Photographer: John Hammond

ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス 《人魚》1900年
Photographer: John Hammond

魔性 のミューズ

ウォーターハウスは文豪、夏目漱石が好んだ画家。小説『三四郎』には、イギリス留学中の漱石が見たであろう、この作品を意識した人魚が登場する。長い髪をとかしながら魅惑的なまなざしでこちらを見る人魚は、船乗りを甘美な歌声で惑わして難破させる半人半魚の魔物、セイレーンを彷彿させるが、漱石もその妖しさの虜になったのかも。

担当学芸員が語る
展覧会の見どころ



愛知県美術館学芸員
石崎 尚

スコットランドでの住民投票が話題となったイギリスですが、出品作品には植民地風景もあり、侵略と支配の歴史が垣間見られます。アカデミー会員には外国人作家も少なくないことから、島国ゆえに大陸から遅れをとっていた美術を、彼らを迎えることで振興させてきた懐の深い国民性も感じていただけるのでは。近年、ターナーやホイットラー、ラファエル前派の展覧会が各地で開催されていますが、英国美術の流れを大観できる展覧会です。

華麗なる英国美術の殿堂
ロイヤル・アカデミー展
2015年2月3日(火)～4月5日(日)
愛知県美術館
10:00～18:00 ※全曜日は20:00まで
(入館は閉館の30分前まで)
月曜休館
一般1,300円 高校・大学生1,000円
※前売・団体は各200円引き ※中学生以下は無料

Check!

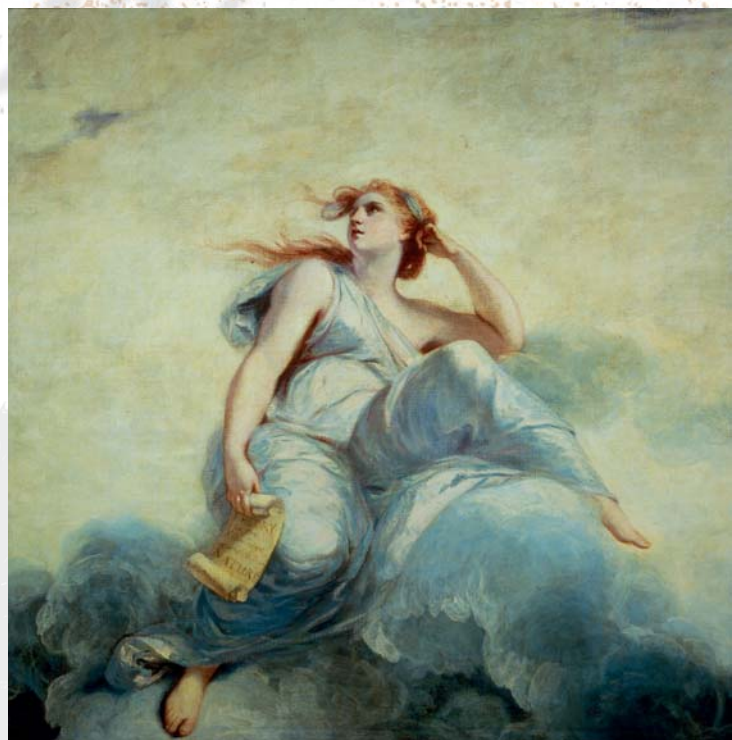
ロイヤル・アカデミーが居を構えるパーリントン・ハウスは、ロンドン中心部のピカデリーに、17世紀に建てられたパーリントン伯爵邸。貴族のお屋敷の重厚な雰囲気、美術館に再現されるのも見どころの一つ。

all images : ©Royal Academy of Arts, London

取材・文：田中由紀子

知性 のミューズ

ロイヤル・アカデミー初代会長のレノルズが、施設内の図書室の天井画として描いた女性像。ルネサンス様式に則った巫女で、アカデミーの根拠と使命ともいふべき「セオリーは真の本質についての知識である」と書かれた巻物を手にしている。天空のかなたを見上げる彼女の目には、アカデミーの輝かしい未来が映っているのだろうか。



ジョシュア・レノルズ 《セオリー》1779-1780年

2013年のジョージ王子誕生に続き、翌年9月にはキャサリン妃の第2子ご懐妊を発表した英国王室。そんなロイヤル・ベビーブームに沸くイギリスより、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ創設から20世紀初頭まで150年の歴史をたどるコレクション約90点が来日した。ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツは、イギリスの芸術振興と美術教育に重要な役割を果たしてきた芸術機関。ジョージ王子と奇しくも同名のジョージ3世の庇護のもと、1768年に創設され、現在ではホックニー、ゴームリ、カプリアなど



パーリントン・ハウス外観 2011年4月撮影
Photographer: Prudence Cuming Associates Limited

虚栄 のミューズ

美しく着飾った若い娘の背後には、豊かさや喜びを表すたわわに実る葡萄の木が、左手には虚栄心を象徴する手鏡が描かれている。ロイヤル・アカデミー・スクール在学中にラファエル前派の展覧会に強い影響を受けたクーバーは、モダン・アートの台頭を物ともせず、忘れられていたラファエル前派の鮮やかな色彩や緻密な描写、主題を蘇らせた。



フランク・カダガン・クーバー 《虚栄》1907年
Photographer: John Hammond



ジョン・コルクット・ホーズリ 《居心地のよい場所》1865年
Photographer: John Hammond

ど国際的アーティストが会員に名を連ねている。1769年から毎年開催されている「サマー・エキシビション」と呼ばれる展覧会は、今ではロンドンの夏の風物詩に。また、英国最古の美術学校でもあり、ターナーやブレイク、ロセッティなど多くの作家を輩出してきた。今回は、2015年2月には愛知県美術館も巡回する「ロイヤル・アカデミー展」から、さまざまな女性性を宿した女性像をピックアップ。キャサリン妃やダイアナ妃にもつながる、麗しのブリティッシュ・ミューズに会いに行こう。

世界初のクリスマスカードを作ったことで知られるホーズリ。彼が活躍したヴィクトリア時代はスードに対して批判的ではあったが、裸婦をモデルにすることに反対し、新聞に意見広告まで出す潔癖ぶりは、「着衣のホーズリ」とあだ名された。この作品に登場する慎まやかで家庭的な雰囲気をもつ女性性は、そんな彼の理想だったのかも。

貞淑 のミューズ

Check!

音声ガイド(有料)のナレーションは、人気アニメ「ふたりはプリキュア」で主人公、キュア・ブラックこと美墨なぎさ役を務める声優の本名陽子さん。プリキュアの声でミューズの魅力アップは間違いなし。



Tom Johnson's The Four Note Opera



藤田 朗子 (ピアノ/コレペイトール)



志村 彦彦 (バス)

左上から時計回りに
西本真子 (ソプラノ)、
布施雅也 (テノール)、
加賀ひとみ (メゾソプラノ)、
大山大輔 (バリトン)

「ヤラれた! こんなオペラがあったのか!!」
ツウもビギナーも、思わず笑いが込み上げるオペラが登場!
しかも使う音は「レ」と「ミ」と「ラ」と「シ」、たったの4つだけ!
驚きのオペラの秘密と魅力を教えてくださいませ〜♪♪♪

1972年にニューヨークで発表された知る人ぞ知るオペラ「4音オペラ」の日本語版世界初演が実現する。これはミナルミュージックの鬼才トム・ジョンソンの代表作。世界中の言語、時には方言でも上演されてきた同作が、ついに日本語で初演される。

このオペラ、何がゴイかと言えば、D・E・A・Bの4音だけで作曲されている。「それでオペラになるの? 音楽に聴こえるの?」と思うかもしれないが、違和感なく、逆に豊穣さを感じてしまうほどの作品に仕上がっている。ジョンソンは数式や順列にこだわった論理的作風で知られるが、それが感覚でとらえられる範囲に収まっていて、聴き手を選ばない。

そして面白いのが歌詞。歌手たちは置かれている状況そのものを歌い上げるのだ。自分は何をしているのか、次にどんな展開になるか、はたまた出番が少なくて不満だというような心情まで! オペラを批評的に演じるメタ・オペラの趣向が爆笑を巻き起こす。

本公演では「4音オペラ」に加え、ジョンソンの小品ふたつ、さらにジョンソンと親交のある作曲家・足立智美が委嘱作品「三音ぼんがく」を発表。おもしろく刺激的な音楽体験を、ぜひ劇場で味わって。



担当者の
一言

愛知県芸術劇場
シニアプロデューサー
藤井明子

「YouTubeなどの動画サイトでいろんな国の上演を観られるんですけど、どこでやっても、みんな笑ってるんですよ。そこに強く引かれたんですよ。『私もお客さんを笑わせたい!』と(笑)。近・現代のオペラにはシリアスな題材のものも多いですけど、この作品では思いきり笑って帰っていただきたいんです」

PROGRAM

【第1部】

トム・ジョンソン《ドア》
Door (1978)
トム・ジョンソン《七つまで数える》
Counting to Seven (2012)
足立智美《三音ぼんがく》
The Three Note Pusic (2014) ※委嘱初演

【第2部】

トム・ジョンソン《4音オペラ》
The Four Note Opera (1972) ※日本語版世界初演
演出: 恵川智美

トム・ジョンソン《4音オペラ》

日本語版世界初演

2015年3月28日(土) 14:00

愛知県芸術劇場小ホール

一般(前売・当日とも)3,500円
学生(小学生~25歳以下)2,500円
※全席指定
チケット発売: 12月11日(木)



9月下旬に東京で行われた稽古に行ってきました。実力派揃いの歌手陣が、真剣に音、歌詞を確認しながら歌っているの横目に、失礼ながらクスクスと止まらず…笑。演出の恵川さんも、「これから色々「いたづら」を仕掛けていこうと思います。」とおっしゃっていました。(広報担当: 小出充訓)

英国文化にもっと親しみたい!



ロイヤル・アカデミー展でイギリスの美に触れたら、その文化をもっと知りたくありませんか? そこで、まずは本展関連イベントを要チェック。

ロイヤル・アカデミー展関連イベント



エドワード・ジョン・ポインター 《世界の若かり頃》1891年 愛知県美術館蔵

コレクション展

愛知県美術館ではロイヤル・アカデミー展の会期中、同館の所蔵品で構成されたコレクション展も同時開催。コレクション展でもミュージズを思い起こさせる女性画やイギリス人アーティストの作品を観られるなど、愛知県美術館のコレクション作品を公開します。

記念講演会

「ロイヤル・アカデミーとシェイクスピア、そしてターナー」

2015年2月21日(土) 13:30 ~ 15:00

講師: 河村錠一郎 (一橋大学名誉教授)

会場: アートスペースA (愛知芸術文化センター 12階)

※先着180名、申込不要、聴講無料。開始時刻にお集まりください。

アートライブラリー所蔵品

愛知芸術文化センター 1階のアートライブラリーでは、英国文化に親しめる書籍や映像を多数所蔵。

このコーナーでは、それらの中からほんの一部をご紹介します!

VIDEO

「クリスマス・キャロル」

(1970年 アメリカ)

イギリスを代表する文豪チャールズ・ディケンズの小説を元にしたミュージカル映画。ケチで思いやりのない老人スクルージが聖夜に亡霊たちと出会い、人間らしい心が目覚める。



BOOK

アガサ・クリスティー百科事典

作品、登場人物、アイテム、演劇、映像のすべて
(2004年 早川書房)

推理小説で名高いイギリス人作家クリスティーは「招かれざる客」ほか戯曲も遺している。そんな彼女の多彩な創作活動や、そこから派生した作品を網羅する書籍。ファン垂涎!



VIDEO

イン・コンサート／

サラ・ブライトマン

(1997年 イギリス)

イギリスから世界に羽ばたいた歌手サラ・ブライトマンが、代表作のひとつ「オペラ座の怪人」のナンバーをはじめ、クラシックからポップスまで幅広い楽曲を披露している。



VIDEO

「ベガーズ・オペラ」

(1983年 イギリス)

18世紀の英劇作家ジョン・ゲイが書き下ろし、ブレヒトが「三文オペラ」に翻案したことで有名。ミュージカルの原点と言われ、風刺に満ちた展開は現代社会にこそ響くものがある。



BOOK

マイ・フェア・レディーズ

バーナード・ショーの飼ひ慣らされない

ヒロインたち
(2005年 慧文社)

「マイ・フェア・レディ」の原作「ビグマリオン」を書いた英国の才人ショー。彼の作品の女性像を考察した一冊だ。なお、ライブラリーでは映画「マイ・フェア・レディ」も所蔵。



VIDEO

「ロミオとジュリエット」: 全3幕／

ヌレエフ／フォンテン

(1966年 イギリス)

大劇作家シェイクスピアの名作はバレエにもなっている。ジュリエットは英国舞踊史に輝くプリマ、マーゴ・フォンテン。ロミオは名パートナーだったルドルフ・ヌレエフだ。



アートライブラリーには、専門書、学術誌、楽譜、CD、DVDなど、約13万点の芸術関連資料を所蔵しています。是非ご来館ください。(アートライブラリー担当: 日下部浩)

フレッシュな役者、揃いました! 「パブリックイメージリミテッド」開幕



水上亜弓 「東京の役者。濃い印象で迷ったけど、似たような人ばかりじゃなくゴツゴツした顔合わせが刺激的なと」

山内庸平 「以前から舞台を観ていて、芝居が好きなんだらうなと感じて……。ムードメーカーになってくれます」

青木仁美 「東京から来てくれるんですよ。彼女は、恥ずかしそうに、自信なさそうにしゃべるところがいい」

島林瑞樹 「まだ大学生で若いけど、芝居に入る時にスイッチを入れない、あるいはスイッチのばれない人ですね」

尾國裕子 「朗読会をやっている語りには長けてるし、40代なのもい。年齢のバリエーションがほしかったんです」

林 真也 「シュツとした感じで、スマートに(芝居を)やっている風なんですけど、でも、そうじゃないという……(笑)」

高橋ゆな 「学生で、最年少かな? 無邪気で自分勝手な感じ(笑)。でも芝居はめちゃくちゃ上手いんです」

田内康介 「オースターの俳優で何をやらせても上手いんですよ。今回はWキャストの予定なんですが、彼だけは両バージョンに出ます」

川上珠来 「彼女は滑舌と声がいいんですよ。この舞台は「語りの要素が強いので、イイ声の人を揃えました」

昨年、第13回AAF戯曲賞を受賞した「パブリックイメージリミテッド」が愛知の演劇人によって上演される。洋楽好きならピンとくるだろうが、同作のタイトルはイギリス音楽史に残るパンクバンドの名前に由来。その真意は作者・萩原雄太のインタビューを読んでいただくとして、出演者にはイキのいい顔ぶれが揃った。そこでオーディション選考を行った演出の平塚直隆から、まずは彼らのご紹介を!



戯曲に書き込まれた細かい指定もそのままですよ



平塚直隆
による役者紹介

(平塚直隆に聞く)

「ぼうだいなモノログを、役者が入れ替わりながら語る戯曲です。演出はどのようにしようと考えていますか。」

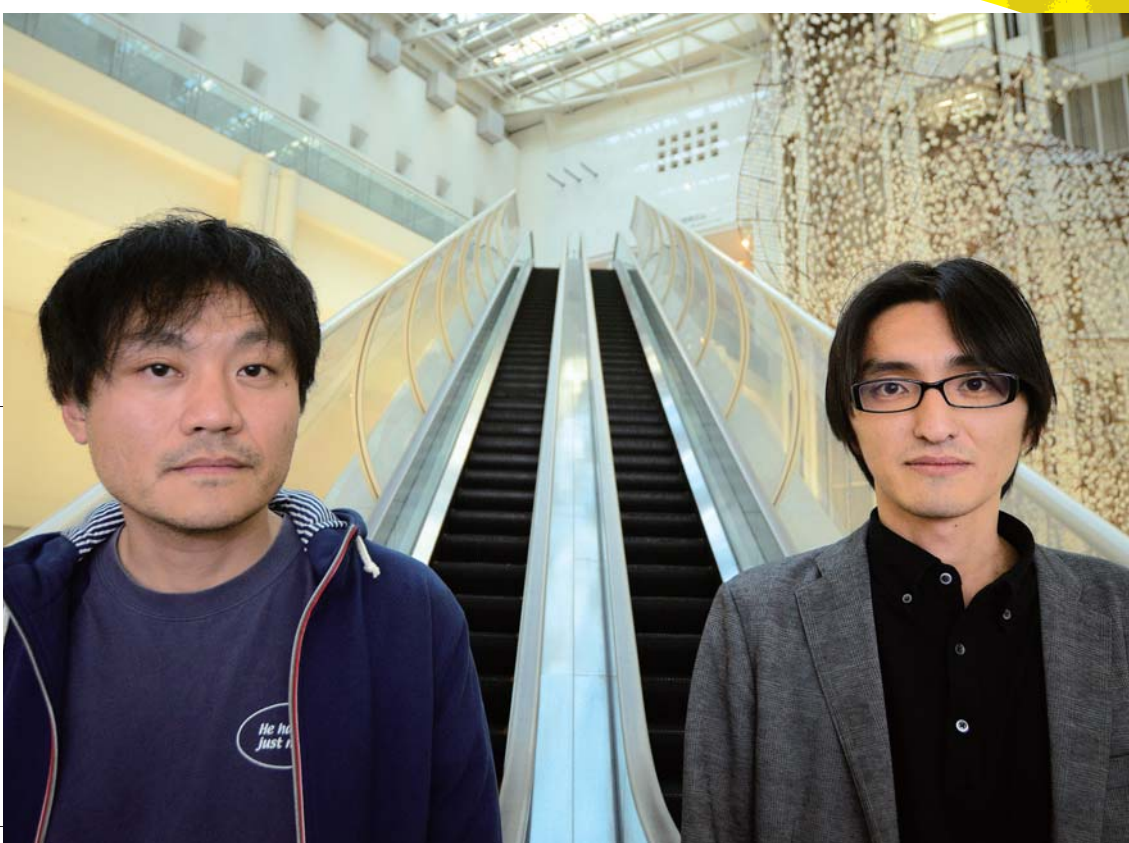
「舞台と客席がなるべく地続きの感じにしたいので、客席で上演したいぐらいの気持ちなんです。キャストの生々しさで見せたいなとも思っています」

「平塚さん自身、かつてはキャストでAAF戯曲賞公演に参加された経験もありますね。」

「はい、第1回の『大熊猫中毒』で主役をやらせていただきました。劇作家としては第2回で佳作をいただいた以降ずっと応募を続けました。が、いつの頃からか、公開審査会で選考委員の方々に『もう平塚に佳作はやらない』と言われ、やがて僕の講評が失笑から始まるようになって……。『豆』で第12回の優秀賞を獲得するまでは、もう風物詩でしたよ(笑)」

「もはや、AAF戯曲賞の申し子と言っても過言ではない!?!」

「ある時期からは演出の座も狙ってからですけど、まずは『優秀賞を獲得したんです。でも、おかげで主演・作・演出のすべてを実現できることになったんじゃないかと思えます。地元賞ということで第1回から関心をもつてきましたし、思い入れはずつと強いですよ」



(萩原雄太が語る)

「パブリックイメージリミテッド」は、東京を拠点に活動する萩原雄太が書いた戯曲だ。萩原は題名について「この数作、コンセプトに合う言葉のバンド名から取ってるんですが、音楽性とは関係ないんですよ」と語る。ただ、「パブリックイメージリミテッド」は一般的に想像される演劇の枠には収まっていない。初演は2012年4月。東日本大震災発生翌年だった。

「震災とは何かを考えるうちパブリックというテーマ、私たちがどのような社会を生きていくかという問題に行き着いたんです。執筆当時「がんばろう日本」といったフレーズが叫ばれ、私的な領域が許されない空気を感じていたんですけど、今後の日本を考えた時、単純な社会性に集約されてはいけないんじゃないかと思って。だから、一人称で語り尽くすことにしたんです」

本作は、ほぼ男女ふたりのモノローグで展開。募金活動に参加している「僕」と、待ち合わせの約束をすっぽかされた「私」は、それぞれ心の内に思っていることを、文法おかまいなしの口語で語りまくる。舞台は2011年2月10日、翌日に通り魔予告を控えた新宿駅東南口――。

「3月11日以降の日本を描こうとするうち、実は、それ以前のものが露見しただけじゃないかと考え始めて。そこで3月11日以前のことを振り返ってみたら、実際2月10日に起きた通り魔予告に突き当たったんです」

この事件も織り込み、萩原は3・11以降変わったことも変わらなかったことも明らかにしようと戯曲を書き上げた。それが2015年2月、東京から遠く離れた愛知で上演される。新たに創造された舞台から、どんなイメージが共有されるのか楽しみたい。

第13回AAF戯曲賞公演
「パブリックイメージリミテッド」
 2015年**2月13日(金)～15日(日)**
 金19:30 土14:00/18:00 日11:00/15:00
愛知県芸術劇場小ホール
 前売一般3,000円 大学生(25歳以下)2,000円 高校生以下1,000円
 当日一般3,500円
 ※全席自由
チケット発売:2015年1月9日(金)



イラスト: Satomi Tamamura

演出 平塚直隆

PROFILE
 1973年、名古屋生まれ、同市在住。
 劇作家、演出家、俳優。
 プロジェクト・ナビを経て、2005年にオースターズ結成。
 代表作には2012年に第12回AAF戯曲賞を受賞した「豆」などがある。

作者 萩原雄太

PROFILE
 1983年、茨城県生まれ、東京都在住。
 劇作家、演出家、フリーライター。
 2007年、かもめマシーンを旗揚げ。
 代表作には2011年に福島県双葉郡の路上で上演した「福島でゴドーを待ちながら」などがある。



Check!

AAF戯曲賞には、毎年、全国から応募があります。受賞作は翌年度、新たなキャストやスタッフを迎えて上演されるので、戯曲の魅力を実際に劇場で体感できるのも特徴なんです。(演劇担当プロデューサー: 山本麦子)



前回の公開審査会の様子

第14回AAF戯曲賞公開審査会も要チェック
 12月9日(火) 18:30からは愛知県芸術劇場小ホールにて、第14回AAF戯曲賞の公開審査会が行われる。第一線で活躍する劇作家・演出家が新たな才能の発掘を目指して演劇論を交わす貴重な場。その熱さを知ればAAF戯曲賞の見方が変わるはず!

REPORT

なご、年明けには愛知県芸術劇場の避難訓練も予定されている。こちらはコンサート最中の想定で、観客も交えて実施。詳しくはHPなどで発表予定。

多くの人が往來することなど、防災訓練を通じて美術館という場所の性質を再確認する機会ともなった。

去る10月、愛知県美術館で防災訓練が行われた。美術館はお客様のみならず美術品にも繊細な配慮が必要とされる現場。今回はデユイ展開催中の展示室を火元と想定して、不測の事態に備える訓練が行われた。



「防災訓練&避難訓練、お客様の安全は日頃の訓練から！」



愛知県の中学校から1年生の男女43人が来場した。学生のみなさんは劇場スタッフのナビゲートで、まず大ホールを見学。2500席・ステージが3面ある本格オペラハウスは全国に誇れるが、この日は実際に舞台に立つても

愛知芸術劇場では芸術普及活動の一環で

らしい、奈落まで舞台面が下がるところや、反対に上になるところを体感してもらった。これは横で見てもゾクゾクする迫力で、あらためて大ホールの規模に圧倒された。次にコンサートホールへと移動。やはり愛知自慢のバイオリンを弾くのは、音楽専用ホールならではの



「学生さん、いらっしゃい！」

13メートルも下がるってスゴくない？

大ホール見学の様子

の特色を知ってもらおう。そして最後は大ホール。舞台中心の目安となるランプが客席後ろで点灯していることなど、小空間ならではの構造が紹介された。

なお、利用状況によって実施可能な日は限定されるが、ホール見学は随時受付。学生のみなさん、まずは劇場がどんなところか見に来てみてください。

また、学生を対象にした今後の企画として、NHK交響楽団の楽員による公開レッスンも開催。こちらも毎年好評につき、早めのお申込をお待ちしています！

NHK交響楽団 楽員による公開レッスン
 2015年2月22日(日) 18:00~20:30
愛知県芸術劇場 コンサートホール
 講師：菊本和昭(NHK交響楽団 首席トランペット奏者)
 受講申込締切：2015年1月16日(金)必着
 ※詳しくはHPをご覧ください。



この舞台裏ツアーを体験することで、少しでも劇場に親しみを持ってもらえたら嬉しいです。美術館でも、団体鑑賞の受け入れを行っていますので、お気軽にお問い合わせください。(舞台技術担当：浅野芳夫)



愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品 最新第23弾、三宅 唱監督『THE COCKPIT』

三宅 唱監督による AACオリジナル最新作初公開



三宅 唱

愛知芸術文化センター12階のアートスペースAでアートフィルム・フェスティバルが開催中。この映画祭はジャンルを横断した作品を選んでいくことが特色となっている。そして最終日には、愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第23弾が初公開！ 待望の最新作『THE COCKPIT』のメガホンをとったのは映画監督・三宅 唱だ。三宅は2012年、村上淳らをキャストに迎えた『PLAYBACK』で商業デビューを果たし、辛口評論家陣から絶賛を浴びる一方、あいちトリエンナーレ2013で同作上映の際にはライト層にも好評を博した。『THE COCKPIT』で注目すべきは、三宅が日本のヒップホップを題材にしたこと。愛知県美術館の越後谷卓司主任学芸員は「ドキュメンタリーの手法でアーティストに取材して、音楽ができていく過程から、彼らの身体性を浮き上がらせている作品。ヒップホップの言葉が紡がれていく現場のプロセスを体感できるという意味でも面白いですよ」と語る。ヒップホップ・シーンの熱い愛知だけに、音楽ファンにも見てほしい64分だ。

『THE COCKPIT』のプロデュースを担当した愛知県美術館主任学芸員 越後谷卓司



PROGRAM

- ・「オーバーハウゼン国際短編映画祭」セレクション
- ・ドキュメンタリーの現在
- ・映像アートの軌跡 since1964
- ・愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品 最新第23弾 三宅 唱監督『THE COCKPIT』初公開

第19回アートフィルム・フェスティバル
 11月23日(日・祝)~12月7日(日)
 ※11/25(火)・12/1(月)は休館
アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)
 入場無料 ※全席自由

最前衛のサウンドパフォーマンスにガク然!?

昨年度まで行われた「AACサウンドパフォーマンス道場」が、一般公募の出演者とゲスト・アーティストを迎える「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」として再出発する。藤井明子プロデューサーは「音楽をベースに新しいことをやりたいと思ってる人は多いけれど、発表の場は少ないんですよ。この企画では、プラットフォームの名のもとでも舞台に乗



つむぎね <11日(水)>

contact Gonzo <11日(水)>



フォルマント兄弟 <12日(木)>



クリストフ・シャルル <12日(木)>

サウンドパフォーマンス・プラットフォーム
 2015年
3月11日(水)・12日(木) 19:00
愛知県芸術劇場小ホール
 一般(前売・当日とも)2,500円
 学生(小学生~25歳以下)1,000円 ※全席自由

せたいし、一度にたくさん見せたいとも考えてるんです。お客さんには「ようわからんかったけど、アレだけは面白かった」と思ってもらえればいいですね」と意気込む。

この誌面の制作時は選考もまだ中だが、ひと足先にゲストが決定！「たっくん見てほしい」という藤井プロデューサーの想いから、ゲストも両日2組が登場する。初日には、演奏を歩きながら行うことで視覚的にも楽しませるつむぎね、痛みをテーマに身体を追求するcontact Gonzoが出演。2日目には、合成した人工音声を駆使した作品が面白いフォルマント兄弟、コンピューターを駆使するフランス人音楽家クリストフ・シャルルが出演する。初日はプラットフォーム系、2日目はサウンド系といった組み合わせだ。

Check!



アートフィルム・フェスティバルは、なかなか見ることのできない作品が勢揃いしています。しかも全作品無料! ということで、私も学生時代は連日入り浸っていました。もちろん今年も見に行きます! (アシスタントスタッフ：村松里実)

愛知県芸術劇場 大ホール支配人

おおわきよしこ
大脇可子



鑑賞したのは…

熊谷守一展



9月5日～10月19日、岐阜県美術館にて開催

1980年代、世界を席卷した伝説のグループ YMO のアルバム の曲間に、三宅裕司率いる S.E.T.* のコトが入っていた。そのうちのひとつ、「大学受験対策講座」の謎の問題で、「猫に()」 というのがあった。

まともな正解はもちろん「猫に小判」だ。ただしこの謎、私は常々、猫に大変失礼だと思っている。この謎の意味は「価値のわからない者に高価なものを与えても無駄であることのとえ」(大辞林)だが、それは人間様の思上がった勝手な価値観である。猫にとってはお金の方が無価値なのだ。猫好きにはたまらない自由気ままな性格と、生来持つ野性、そして人間様を悩殺する猫なで声があれば、猫は自分で生きていける。そしてその生き様に、複雑な人間社会に生きる人間様は惹かれるのである。

S.E.T. のコトで出された質問の答えは「猫に(こんばんは)」だった。その解釈は、たしか、道端で突然猫に出会った時に、「こんばんは」と声をかけるだけの余裕を持つ、というものだった。この方がずっとい。岐阜県美術館で開催された熊谷守一展で、様々な自然や身近な生き物が独特の描写で描かれている作品群の中の猫の絵に、あらためて、猫の魅力を確かめるのであった。

*スーパー・エキセントリック・シアター

愛知芸術文化センター
情報誌 AAC

通巻82 2014年12月号

発行：愛知県芸術劇場

(公益財団法人 愛知県文化振興事業団)

印刷：鬼頭印刷株式会社

デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)

表紙写真：山崎のりあき

編集：小島祐未子(家鴨の編集舎)

表紙撮影協力：名古屋港 ワイルドフラワーガーデン ブルーボネット

誌上 文化交流

文化施設に携わるスタッフが
お互いの企画を観て、感想をいたしました

岐阜県美術館 学芸部長

おかだきよし
岡田潔



鑑賞したのは…

デュフィ展



10月9日～12月7日、愛知県美術館にて開催

以前に南フランスへ出張した時のこと。景色を見て、日本とは色彩がずいぶん違うと思った。地中海は深い青。空の青も濃く見える。白っぽい岩の大地が広がり、町や村には赤トーンの屋根が連なる。まばゆい光のもと、色の純度が高い。そんな中、旅人の目には、カフェで憩う人々の姿が印象に残る。世界は輝き、人々は人生を楽しんでいる…

このような体験をデュフィの絵は思い出させる。人々が集う海岸や町の風景、花や壁紙で華やかな室内。描きっぷりでは、鮮やかな、彩度の高い色彩が画面をいろどる。黒い線の連なりは、リズムカルなメロディーを連想させる。デュフィは音楽好きだった。

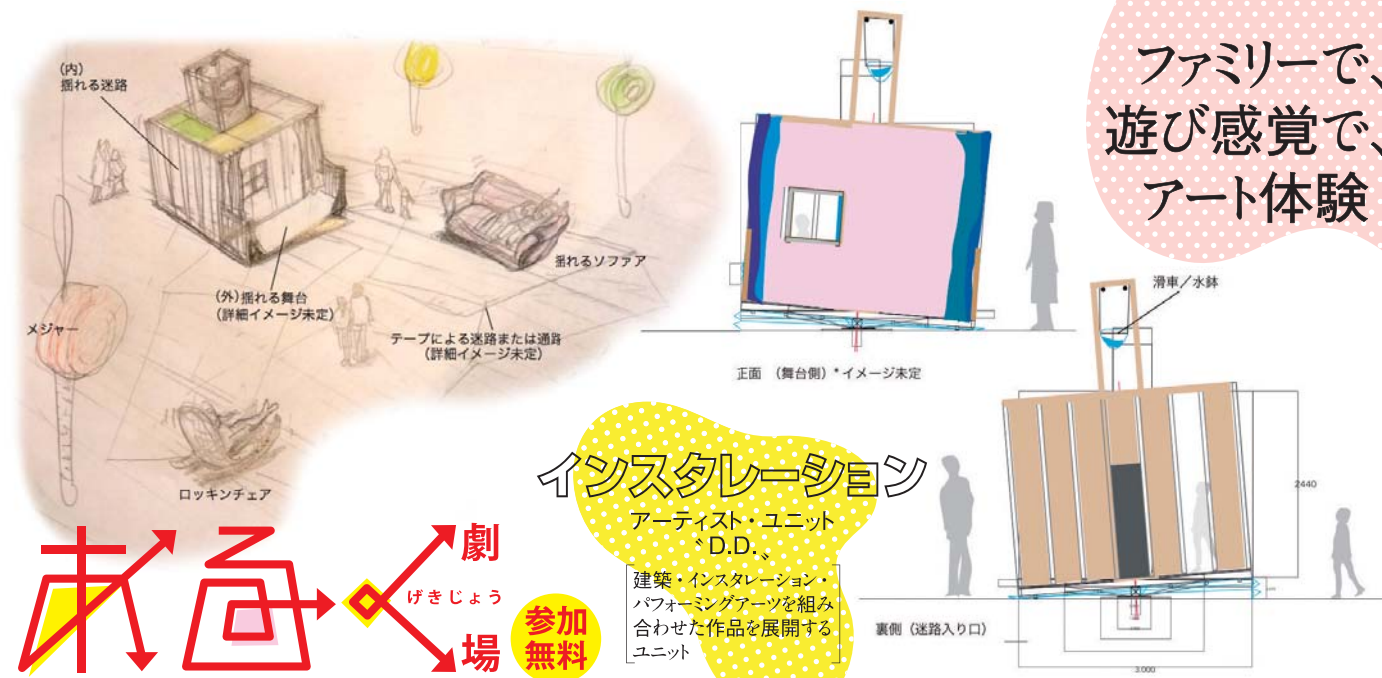
デュフィは若い時期に、マティスが南仏滞在中に構想した「豪華、静寂、悦楽」に大きな影響を受けたという。今回のデュフィ展では、彼のスタイルが作られていったプロセスもよく分かった。また、室内装飾の仕事も加味されていて、彼の持ち味を生かした展開も楽しめた。



広報担当：小出 充訓

編集後記

午後10時、お客様はもちろん、主催者の皆さんも帰られた空っぽの劇場で、「さあ行きますか!」の声とともに仕事を始める人たちがいます。ということで、先日、ホール清掃を体験してきました。コンサートホール、小ホールの順に、楽屋、客席、ロビーなど、手際良く進んでも、最後の大ホールに着く頃には日付が変わります。さあもう一息!、掃除機を持っていざ2500の客席へ。無心に掃除機を動かしているうちに、手に豆ができてのけに気付きました。「終わったー!」と立ちつくす私を横目に、清掃道具を片付ける皆さん。翌朝7時からは朝の清掃が始まります。

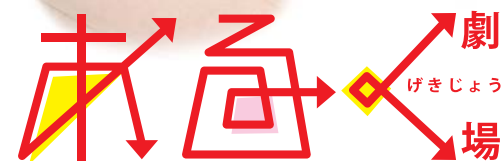


ファミリーで、
遊び感覚で、
アート体験

インスタレーション

アーティスト・ユニット
「D.D.」

建築・インスタレーション・
パフォーマンス・アートを組み
合わせた作品を展開する
ユニット



参加無料

オアシス21から地下連絡通路を通じて愛知芸術文化センターに入ると、地上2階まで吹き抜けのオープンスペースがある。この空間を拠点に全館を使ったイベントが行われる。
メインは、今村哲と染谷亜里可によるアーティスト・ユニット「D.D.」が《観客にとって「不意打ち」、歩くものにとっては「成果」と題したインスタレーションを発表。これは作品の中に入ったり触ったりできる体験型アートだ。特に《揺れる迷路》は3M×4Mほどあるが、屋根の一部がないので、作品内ではしゃいでいると吹き抜けの上から他の人に見られてるなんてことも……。
また、写真や地図をたよりに、センターに隠された文字を探し出す「ハンティングワード」などの謎解きゲームも開催するので、奮ってご参加を。なお、期間中には他に、辻本知彦と島地保武がセンター内でゲリラ的に行うダンスや、マリノバの近藤幹夫、クラリネットの岡林和歌、パフォーマンスの田口美郷の3人によるミニコンサートもあるので遊びに行ってみよう!

あるく劇場
12月6日(土)～21日(日)
10:00～19:00
愛知芸術文化センター
地下2階 フォーラムII

(マルチビジョン前)

参加無料

※12/15(月)は休館

ダンス



島地保武



辻本知彦

ミュージック



岡林和歌



近藤幹夫



田口美郷

あいちトリエンナーレ2016 テーマ決定

「あいちトリエンナーレ2016」のテーマが「虹のキャラヴァンサライ」に決定しました。トリエンナーレ2010の「都市」、2013の「大地」に続き、3回目となる今回は「人間」に焦点を当て、常に未知への、好奇心による無限の探求を続けながら旅を続ける人間がテーマとなります。

「あいちトリエンナーレ2016」のテーマが「虹のキャラヴァンサライ」に決定しました。トリエンナーレ2010の「都市」、2013の「大地」に続き、3回目となる今回は「人間」に焦点を当て、常に未知への、好奇心による無限の探求を続けながら旅を続ける人間がテーマとなります。



テーマを発表する港千尋芸術監督

Check!



会見時に港監督が着ていたシャツの色は、テーマカラーと同色。会見後に尋ねると「昨日、名古屋のデパートで目に留まり、思わず買いました」とのこと。「あまり注目されると同じ服を着づらくなりますね」と言いつつ、嬉しそうな表情でした。(広報担当：福島尚子)

FLOOR GUIDE

開扉：9:00 休館日：第1・第3月曜日(6月は毎週月曜日)、年末年始

- 総合案内
 レストラン
 喫茶店
 公衆電話
 やさしいトイレ
 赤ちゃんコーナー
 トイレ
 連絡通路有

12F
アールスペースA~H
屋外展示スペース

(11F) **展望回廊**

10F
美術館(所蔵品・企画展示室)
屋外展示スペース
ミュージアムショップ

9F

8F
美術館(ギャラリー)A~J

(7F)
6F **回遊歩廊**
(5F)

4F **コンサートホール**

(3F)

2F
大ホール
 西玄関・南玄関 オアシス21連絡橋 NHKビル連絡口

1F
アートライブラリー
 正面玄関

B1 **小ホール**

B2 **アートプラザ** **アールスペースX**
リハーサル室
 オアシス21地下連絡通路

B3 B4 B5 **駐車場**

INFORMATION

愛知芸術文化センター「メールニュース」登録受付中!
 美術館、劇場の情報をEメールで配信中!
 ホームページからご登録ください。

愛知県芸術劇場ダイレクトメール会員募集中!
 情報誌AACや、先行予約などの主催公演情報をお届けします。
 登録費・年会費無料
 [申込方法]
 必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールでお申し込みください。
 ①氏名・ふりがな ②郵便番号・住所 ③ご連絡先(電話番号・Eメールアドレス)

ブログ、Facebook、Twitterやっています!

◎愛知芸術文化センター地下2階プレイガイド
052-972-0430(月曜定休/祝日・振替休日の場合は翌日振替)
チケット ◎チケットぴあ
 の主な取扱先 **0570-02-9999**(サークルKサンクス、セブン-イレブンでも購入可)
 ◎アイ・チケット
0570-00-5310(祝日を除く月曜~土曜 10:00~17:00)



アクセス

- [公共交通機関]
 ・名古屋市営地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車 徒歩5分
 ・名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩5分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
 [自動車]
 名古屋高速東新町出口から3分
 [駐車場]
 有料駐車場「アートパーク東海」(愛知芸術文化センター地下3・4・5階 約600台)

愛知芸術文化センター
 AICHI ARTS CENTER
 〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
 TEL (052) 971-5511(代表)



お問い合わせ
愛知県芸術劇場
 (公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティング室
 TEL:052-955-5506(直通) FAX:052-971-5541 e-mail:mkt@aaf.or.jp

愛知県文化振興事業団第341回公演

NHK交響楽団

定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ)

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

2015年 **2月22日(日)** 15:00開演 (14:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

2015年9月
 首席指揮者就任予定の
パーヴォ・ヤルヴィが登場!



指揮/**パーヴォ・ヤルヴィ**
 Paavo Järvi, conductor



ピアノ/**ピョートル・アンデルゼフスキ**
 Piotr Anderszewski, piano

- R.シュトラウス / 交響詩「ドン・ファン」作品20
 モーツァルト / ピアノ協奏曲 第25番 長調 K.503
 R.シュトラウス / 交響詩「英雄の生涯」作品40

入場料金: ~~SS席13,000円~~ ^{売切} S席10,000円 A席8,000円 B席6,500円
 C席5,000円(学生2,500円) ~~D席4,000円(学生2,000円)~~ ^{売切} 車椅子席6,400円
 ※学生割引は25歳以下に適用(要学生証提示)
 ※未就学児入場不可。託児サービスあり(要予約)

チケット取扱: 愛知芸術文化センター内プレイガイド・チケットぴあ・アイチケット
 ※車椅子席は下記までお問い合わせください。

主催: 愛知芸術文化センター 愛知県芸術劇場 助成: 平成26年度文化庁
 (公益財団法人愛知県文化振興事業団) 劇場・音楽堂等活性化事業
 NHK名古屋放送局

お問い合わせ: 愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
 TEL 052-971-5609 FAX 052-971-5541 http://www.aac.pref.aichi.jp/

